



## 大学図書館問題研究会第31回京都支部総会 を開催しました

日 時：2008年8月1日（金）19:30-20:30  
場 所：季節料理 門（京都市左京区田中門前町8）  
参加者：13名

- 【第1号議案】2007年度（2007.7～2008.6）活動総括及び  
2008年度（2008.7～2009.6）活動方針
- 【第2号議案】2007年度（2007.7～2008.6）決算案及び  
2008年度（2008.7～2009.6）予算案、会計監査報告
- 【第3号議案】2008年度大学図書館問題研究会京都支部役員候補

支部事務局から第1～3号議案について提案と説明があり、質疑・検討の後、原案のとおり了承されました。

当日の議事メモ・補足事項等については8ページをご覧ください。

2008年度は別記、「2008年度大学図書館問題研究会京都支部役員」を中心に、「2008年度（2008.7～2009.6）活動方針」及び「2008年度（2008.7～2009.6）予算」に沿って支部活動を運営していきます。引き続き、支部活動へのご参加と支部運営へのご協力をお願いいたします。

### [目次]

大学図書館問題研究会第31回京都支部総会を開催しました	…	1
2007年度活動総括及び2008年度活動方針	…	2
2007年度決算案及び2008年度予算案、会計監査報告	…	6
2008年度大学図書館問題研究会京都支部役員	…	8
大学図書館問題研究会第31回京都支部総会 議事メモ・補足事項	…	8
大図研京都ワンディセミナー「大学図書館と著作権」参加報告	…	9

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたはURLへお寄せください。

電子メール：dtkk@rg7.so-net.ne.jp（大学図書館問題研究会京都支部）

URL：http://www009.upp.so-net.ne.jp/dtkk/index.htm

<h2 style="margin: 0;">大学図書館問題研究会第30回京都支部総会議案</h2>
--

2007年度(2007.7～2008.6)活動総括及び

2008年度(2008.7～2009.6)活動方針

### 1. 2007年度活動総括

#### (1) 研究交流活動

2007年度は下記のとおり、大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第2～5回、京都ワンディセミナーと、計5回のセミナーを開催することができました。連続セミナー第4回では、ライブラリアン・セッションを行い、会員の発表の場を設けることができたばかりでなく、情報交換を行うことができました。また、関西4支部新春合同例会は今回、京都支部の担当であったため、U-20プログラミング・コンテストに図書館システムを出品し最優秀賞を受賞された岐阜県立東濃実業高校ビジネス情報科の生徒さんと指導教諭の久保利光先生をお招きして講演会を行いました。

いずれのセミナー等も好評で、アンケートにおいても高評価を得ることができました。

#### A. 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第2回

テーマ：「Web2.0時代の大学図書館」

日時：2007年7月15日(日)13:30～16:30

講師：北克一先生(大阪市立大学)

場所：キャンパスプラザ京都

参加費：大図研会員は800円／非会員は1,000円

#### B. 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第3回

テーマ：「目録サービスの進むべき道」

日時：2007年9月16日(日)13:30～16:30

講師：渡邊隆弘先生(帝塚山学院大学)

場所：キャンパスプラザ京都

参加費：大図研会員は800円／非会員は1,000円

#### C. 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第4回

テーマ：ライブラリアン・セッション

日時：2007年10月7日(日)13:30～16:30

発表者：

福井京子さん(京都大学教育学研究科図書室)

「いま求められる図書館員：コンシェルジュの図書館員」

土出郁子さん(愛媛大学図書館)

『闘病記』資料群の性格と愛媛大学における事例

坂本拓さん(京都大学文学研究科図書館)

「私たちが図書館員でなくなる時：危機管理の視点から」

呑海沙織さん(京都大学医学図書館)

「図書館員養成におけるメンター制度」

大綱浩一さん(京都大学附属図書館)

「大図研京都支部 Web サイトの紹介」

場所：キャンパスプラザ京都

参加費：無料

D. 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第5回

テーマ：「ポスト人文書空間において、学術出版はいかに可能か：『出版』再定義への試み」

日時：2007年11月11日（日）13:30～16:30

講師：長谷川一先生（明治学院大学）

場所：キャンパスプラザ京都

参加費：大図研会員は800円／非会員は1,000円

E. 関西4支部新春合同例会

テーマ：「『猫の司書さん』を創った！ ～高校生が語る図書館システム～」

日時：2008年2月2日（日）14:00～16:00

講師：久保利光先生，秋山貴俊さん，小栗しほさん，加納愛実さん  
（いずれも，岐阜県立東濃実業高校ビジネス情報科）

場所：キャンパスプラザ京都

参加費：無料

F. 京都ワンディセミナー

テーマ：「大学図書館と著作権」

日時：2008年5月24日（土）14:00～16:40

講師：山本順一先生（桃山学院大学）

場所：京都市国際交流会館

参加費：大図研会員は無料／非会員は500円

(2) 支部報

今年度より，支部報の発行を隔月とし，一号あたりの内容の充実に努めました。セミナー等の感想や参加報告を掲載し，セミナー等に参加できなかった支部会員への情報提供をはかることができました。

今年度，発行した支部報の目次は，下記のとおりです。

1) 支部報 No.259(2007/08/15 発行)

- ・ 大学図書館問題研究会第29回京都支部総会を開催しました
- ・ 2006年度活動総括及び2007年度活動方針
- ・ 2006年度決算案及び2007年度予算案，会計監査報告
- ・ 2007年度大学図書館問題研究会京都支部役員
- ・ 本を読まなきゃ大学生じゃない・連続セミナー「知の変容と大学図書館」第1回参加報告
- ・ 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第3回のご案内
- ・ ライブラリアン・セッション発表申込みについて

2) 支部報 No.260(2007/10/15 発行)

- ・ 第4回大図研京都連続セミナー：「ライブラリアン・セッション」のご案内
- ・ 第2回大図研京都連続セミナー：「Web2.0時代の大学図書館」参加報告(1)
- ・ 第2回大図研京都連続セミナー：「Web2.0時代の大学図書館」参加報告(2)
- ・ 続京大図書館史こぼれ話 第十二回
- ・ 第5回大図研京都連続セミナー：「パブリッシングの変化」のご案内

3) 支部報 No.261(2007/12/15 発行)

- ・ 近畿4支部新春合同例会のご案内
- ・ 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第3回「目録サービスの進むべき道」参加報告
- ・ 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第4回「ライブラリアン・セッション」参加報告
- ・ 続京大図書館こぼれ話 第十三回
- ・ 大図研京都数珠つなぎ
- ・ 大学図書館問題研究会忘年会開催のお知らせ

4) 支部報 No.262(2008/02/15 発行)

- ・ 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第5回「ポスト人文書空間において、学術出版はいかに可能か——「出版」再定義への試み」参加報告
- ・ 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」のまとめ
- ・ グルジア旅行記・・・あれ、図書館は？

5) 支部報 No.263(2008/04/15 発行)

- ・ 大図研京都ワンディセミナーのご案内
- ・ 関西4支部新春合同例会  
『猫の司書さん』を創った！～高校生が語る図書館システム～ 参加報告(1)-(4)

6) 支部報 No.264(2008/06/15 発行)

- ・ 大学図書館問題研究会第31回京都支部総会のお知らせ
- ・ 大学図書館問題研究会第31回京都支部総会第1号議案
- ・ 第9回灰色文献国際会議に参加して
- ・ 全国大会のお知らせ

(3) ホームページ, メーリングリスト, メールマガジン

支部報の目次の遡及入力 completed し、支部のホームページにおいて支部報 No.1 以降の目次を閲覧することが可能になりました (No.151~169 を除く)。No.150 以前については、発行年月日の情報が未入力なので、今後の課題となっています。また、今後は、セミナー等のイベントの、アンケートのコメントや写真等を掲載していくように努めるなど、より充実したコンテンツの提供を試みました。イベントのお知らせや、支部活動の記録など、順調に更新されており、2008年6月12日現在、3,863アクセスを得ています (2006年8月22日にアクセスカウンター設置)。

メールマガジンは、「大図研京都支部 NewsLetter」として、no.29 (2007年7月2日) から no.56 (2008年6月24日) を発行しました。2008年1月 (No.45, 2007.12.28) 以降、月1回のイベント案内を発行し、好評を得ています。

(4) 組織活動

会員数は、69名 (2007年7月) から 67名 (年度末現在) と、2名減少しました。会員数変動の内訳は、新規入会者10名、退会者12名です。会員数減の主たる理由は、定年退職に伴う退会です。但し、会員数は減少しているものの、昨年度に続いて今年度に関しては最小限にとどめられたのではないかと思います。

## (5) 財政

財政については、支部委員会として毎月状況を把握するとともに、前年度に引き続いて積極的な会費納入の働きかけを行いました。また、昨年度に引き続き、支部委員3名体制による会費納入率の向上に努めました。

2007年度についても昨年度と同様、重点的に3年以上会費を滞納している会員（以下、長期滞納者）を減らすことに努めた結果、昨年度の5名から2名まで減らすことができました。

また、会費徴収スケジュールに則った計画的な督促業務を行うことによって、未納率を下げることができました。各年度の未納率は次のようになっています。2005年度3%、2006年度3%、2007年度8%、2008年度61%（2002-2004も3%）

## 2. 2008年度活動方針

### (1) 研究交流活動

会員のニーズに応じた研究活動の充実をはかり、会員の専門的力量形成に役立てるため、セミナー等を2回以上、開催します。また会員間のコミュニケーションを促進するため支部報の発行、ホームページの充実、メールマガジンの発行など、一層の努力をします。

### (2) 支部報

今年度も継続して、定期発行に努めます。自己啓発や会員間交流につながる「読む」支部報にとどまることなく、会員へ「発表の場を提供する」支部報作りに努力します。

### (3) ホームページ、メールマガジン

京都支部の活動に関する情報をわかりやすく提供するために、ホームページの更新を行います。

また会員に対して、支部の活動状況等を迅速にお知らせする媒体として、メールマガジンを定期的に発信するように努力します。

### (4) 組織活動

大学図書館問題研究会および京都支部の活動を説明し、会員を増やす活動を進めます。セミナーなどあらゆる機会をとらえ、入会の勧誘に務めるだけでなく、魅力的な会報づくりや有益なセミナーの開催、会員交流の場の提供など、充実した支部活動を行います。

### (5) 財政

個々の会員への個人別会費納入状況のお知らせや振込用紙の発送を今年度も引き続いて行い会費納入率の向上に努めます。支部委員会において毎回担当者から報告・提案を受け、会費納入率向上に向けて支部委員全員で取り組みます。

また、セミナー等の企画については、他支部との共催等による経費の節減を模索します。

2007 年度決算 (2007.7~2008.6) 及び  
2008 年度予算 (2008.7~2009.6)

## 2007 年度決算案 (2007.7~2008.6)

総収入	総支出	差引残高
626,416	301,937	324,479

## ■収入の部

項目	予算	決算	差引額	備考
前年度繰越金	291,586	291,586	0	
2009 年度会費	0	2,500	-85,000	1 名 (@2,500 円)
2008 年度会費		82,500		33 名 (@2,500 円)
2007 年度会費	90,000	92,500	-2,500	37 名 (@2,500 円)
2006 年度会費	72,500	17,500	35,000	7 名 (@2,500 円)
2005 年度会費		7,500		3 名 (@2,500 円)
2004 年度会費		5,000		2 名 (@2,500 円)
2003 年度会費		5,000		2 名 (@2,500 円)
2002 年度会費		2,500		1 名 (@2,500 円)
支部報購読会費	0	2,000	-2,000	1 名 (@2,000 円)
セミナー参加費	0	57,400	-57,400	7 月(21,200 円),9 月(22,800 円),11 月(7,400 円),5 月(6,000 円)
寄附金	0	60,000	-60,000	新春合同例会寄付金
口座利子	0	430	-430	
合計	454,086	626,416	-172,330	

※会費内訳(支部会費 2,000 円+支部還元金 500 円)

## ■支出の部

会報	120,000	63,645	56,355	印刷(20,225 円)/送料(43,420 円)
研究交流会費	70,000	103,100	-33,100	合同(62,925 円),5 月(40,175 円)
支部活動費	30,000	5,000	25,000	
事務費	12,000	15,429	-3,429	会費振込手数料(4,140 円)
HP 維持費	16,380	16,380	0	
特別事業費	120,000	98,299	21,701	連続セミナー:7 月(23,500 円),9 月(21,483 円),10 月セミナー(6,833 円),11 月セミナー(46,483 円)
口座税金	0	84	-84	
予備費	85,706	0	85,706	
合計	454,086	301,937	152,149	

2008 年度予算案(2008.7~2009.6)

□収入の部

項目	予算	備考
前年度繰越金	324,479	
2008 年度会費	77,500	31 名*2,500 円
未納会費	37,500	2007 年度:5 名*2,500 円
		2006 年度:2 名*2,500 円
		2005 年度:2 名*2,500 円
		2004 年度:2 名*2,500 円
		2003 年度:2 名*2,500 円
2002 年度:2 名*2,500 円		
支部報購読会費	0	(1 名:2009 年まで前納済)
セミナー参加費	15,000	
合計	454,479	

※会費内訳(支部会費 2,000 円+支部還元金 500 円)

□支出の部

会報	80,000	印刷費(30,000 円)/送料(50,000 円)
研究交流会費	100,000	
支部委員活動費	30,000	
事務費	20,000	
HP 維持費	16,380	
予備費	208,099	
合計	454,479	

2007 年度大学図書館問題研究会京都支部会計監査報告

帳簿および現金は適正に保管・記載されていた。

2008 年 7 月 30 日

大館 和郎 (印)

井上 敏宏 (印)

## 2008 年度大学図書館問題研究会京都支部役員

### 支部委員 (50音順)

- 赤澤 久弥 (奈良教育大学学術情報研究センター図書館)  
池田 貴儀 (日本原子力研究開発機構研究技術情報部)  
大綱 浩一 (京都大学附属図書館)  
坂本 拓 (京都大学文学研究科図書館)  
辰野 直子 (滋賀医科大学附属図書館)  
長坂 和茂 (京都大学経済学部図書館)  
西野 紀子 (立命館大学図書館メディアセンター (委託職員))  
若松 克尚 (京都造形芸術大学芸術文化情報センター)  
渡邊 伸彦 (京都大学附属図書館)

### 監査委員

- 大館 和郎 (京都学園大学教務課)  
井上 敏宏 (京都大学附属図書館)

### 全国委員

- 若松 克尚 (京都造形芸術大学芸術文化情報センター)

### <大学図書館問題研究会第31回京都支部総会 議事メモ・補足事項>

会員の皆様に支部総会当日の様子を知って頂くために、簡単に当日の様子をお知らせします。

1. 赤澤副支部長から第1号議案について説明があり、質疑応答と意見交換の後、原案のとおり了承されました。(ただし、事実の誤記1点(「1. 2007年度活動総括」の「研究交流活動」の「D. 大図研京都連続セミナー「知の変容と大学図書館」第5回」の「参加費」が「大図研会員は800円/非会員は1,000円」であったが、「無料」となっていた点)については修正されました。)
2. 渡邊支部委員から第2号議案について説明があり、質疑応答と意見交換の後、原案のとおり了承されました。
3. 支部委員、監査委員、全国委員については、第3号議案のとおり選出されました。

また、ご参加頂いた会員の方々からは、下記のようなご意見をいただきました。

- ・(第2号議案に関して) 支部会費が2,000円であるにもかかわらず収入計算が@2,500円であるのはわかりにくいのではないかと。会費の説明に、1人あたりの支部会費の内訳(支部会費2,000円+支部還元金500円)入れるべきではないかと。(→p.6-7 決算・予算共に補記済み)
- ・会費未納者が減少した点、セミナーが活発に行われている点、また新規入会者が10名という点は評価できる。
- ・セミナー参加者(特に非会員)を分析して、今後の活動に生かせばよいのではないかと。(どのようなテーマの時にどのような人が参加しているのかという分析。)

- ・会員に非正規職員が多いのであれば、セミナー参加費について考慮する必要があるのではないか。

いただいた貴重なご意見をふまえて、今後の支部活動を運営していきます。引き続き、支部活動へのご参加と支部運営へのご協力をお願いいたします。

また、支部活動へのご意見・ご要望等がありましたら、ぜひ大学図書館問題研究会京都支部（電子メール：dtkk@rg7.so-net.ne.jp）までお寄せください。

---

## 大図研京都ワンディセミナー「大学図書館と著作権」参加報告

宮嶋 牧子

---

2008年5月24日（土）に、大図研京都ワンディセミナー：「大学図書館と著作権」が、桃山学院大学の山本順一先生により京都市国際交流会館で開催されました。このセミナーでは大学図書館と著作権の昨今の動向を中心に、図書館員が知っておくべき著作権の内容について講演いただきました。当日の講演会の概要にそって、印象深かった内容を、以下にご報告します。

### 1. 大学図書館の役割

まず、大学図書館の役割とはどういった位置づけであるかについての認識を確認するところから講演は始まりました。大学図書館の役割と大学に対する役割期待はイコールなものではなく、社会から大学に対する役割期待というものがまずあり、大学図書館の役割というのはその大きなベン図に内包される位置づけであるということです。では、法規に見受けられる大学の定義というものを切り出してみると、古くは学校教育法（昭和 22. 3. 31 法律 26 号）第 83 条の 2 には、「大学は、その目的を実現するための教育研究を行い、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与するものとする。」という条文があり、新しくは知的財産権法（平成 14. 12. 4 法律 122 号）には大学等の責務等として、第 7 条に「大学等は、その活動が社会全体における知的財産の創造に資するものであることにかんがみ、人材の育成並びに研究及びその成果の普及に自主的かつ積極的に努めるものとする。」とあります。他の法規においても、大学の責務というものが教育・研究の生産性向上・促進・活性化する機関であることが見えてくるとの指摘がありました。

### 2. 親切な？著作権行政

ここで、最近の著作権行政に目を転じてみると、映画の盗撮の防止に関する法律（平成 19. 5. 30 法律 65 号）が制定され、メディアや複製技術の発展に伴って拡大してきた映画産業への被害を防ぐための対策が取られるようになり、また、著作権教育が行われるようになったのも大きな特徴です。文化庁が中心となって子ども達に著作権教育を行っており、HP 上の教材も充実しています。しかし、著作権制度を教えるよりも先に、素晴らしい著作物を作ら

せようとする行政の方が大切なのではないかと提案されました。

### 3. 著作権制度の社会的意義

日本では未訳のままであるが、WIPO 著作権条約の前文には、「著作者の諸権利とより大きな公共的利益、とくに教育、研究および情報へのアクセスとのあいだのバランス」について述べられているそうです。

### 4. 大学図書館と著作権

それでは、大学図書館と著作権の関わり方は研究のための利用にかなう現状であるか、との例として、地図資料の複写について、地図の1枚全体は複写出来ないけれど、半分の複写物が役立つかは疑問であると述べられました。また大学図書館における実務必携の一つである「大学図書館における著作権問題 Q&A 第6版 (2008. 3. 25)」については、現場での大学図書館職員の疑問や悩みが良く反映されているが、他の法律との関連性がなく、著作権の範囲内だけで完結している、と辛口の意見を述べられました。第31条(図書館等における複製)の一項に、「図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するため」とあるのは有名ですが、では「潜在的な求め」については対応できているのでしょうか? 研究活動の活性化をはかる、というのが大学図書館のあり方であり、End user からの視点が必要、現時点では図書館員は利用者の側でなく、著作権者の側に立ってしまっているのではないかと、誰のための、なんのための大学図書館員か? ということを念頭に置いておかなければならないのではないかと問題提起されました。

私自身業務が ILL ということもあり、著作権を意識する機会が多いものの、日常 ILL 業務を行っている「大学図書館における著作権問題 Q&A」を判断に迷った場合に参照するなど、目の前のケースを照らし合わせて如何に判断するか、ということに終始しがちになっており、何のために、何を守っているのか、何がサービスとして求められているのかということを改めて突きつけられた思いでした。

みやじま まきこ (京都大学文学研究科閲覧掛)

#### ◇ 会費納入のお願い ◇

会員みなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

大図研会費および京都支部会費の納入をお願いしているところですが、納入率は依然思わしくない状態にあります。既に2008年度(大図研会計年度2008.07 - 2009.06)に入っておりますので、2008年度の会費の納入をお願い致します。また、2006年度以前の会費をお納めいただいていない会員のみなさま、一刻も早い会費の納入にご協力いただきますようお願い致します。

会費は、¥7,000 (大図研会費：¥5,000+京都支部会費：¥2,000) です。

会費は下記口座に郵便振替でお送りいただくか、お近くの支部委員におことづけください。

郵便振替振替口座番号 01090-4-5904 大学図書館問題研究会京都支部

また、ご不明な点は大学図書館問題研究会京都支部 (dtkk@rg7.so-net.ne.jp)、または支部委員(組織・財政担当)の大綱浩一 まで。